

# 指定50年記念 はぶのいせき 土生遺跡



昭和46(1971)年、偶然の発見から建物跡や多数の木製品、土器、石器が見つかり、その成果から初期農耕文化の実相を知るうえで重要な遺跡と認められ、昭和48(1973)年には遺跡の一部が国史跡に指定された土生遺跡。国史跡指定50年目を迎える今年、遺跡の重要性を知るとともに、小城市域で初めての大規模集落を知ることで2000年前のロマンを感じてみませんか？

## 土生遺跡はこんな遺跡です

### 平野部に位置する 弥生時代の大集落

土生遺跡は有明海の最も奥まった平野部に位置しています。北部には天山を主峰とする天山山系がそびえ、その山系を水源とする晴気川や祇園川の堆積作用によって形成された標高7〜10mの扇状地上に立地します。およそ2000年前の弥生時代中期は、JR長崎本線のあたりが海岸線

だったと考えられていますが、海にも山にも近いこの場所です。弥生時代の土生の人たちは農耕生活を営み、大陸系の文化と交わりながら発展し、独自の文化を築いていきました。



### 佐賀平野のクニグニ

中国の歴史書『魏志倭人伝』によると弥生時代の北部九州には、末盧国、伊都国、奴国などのクニがありました。佐賀平野にも弥生時代中期前半頃の河川の流域などに吉野ヶ里遺跡のようなクニが成立していきました。

クニには中心集落があり、その集落がいくつかの小集落を統合していったようです。土生遺跡は小城のクニの中心集落であったと考えられています。



## 土生遺跡のスゴイところ

### 巨大な集落——土生遺跡群——

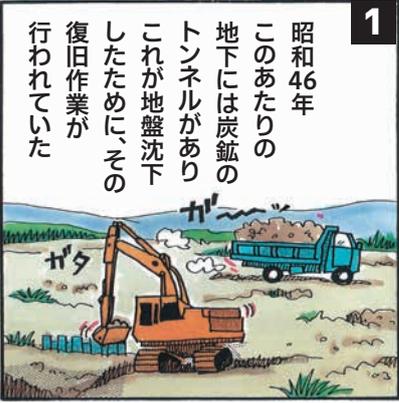
土生遺跡に隣接する仁保遺跡や久蘇遺跡では朝鮮半島の文化の影響を受けた無文土器や木製農具、青銅器の鋳型が出土するといった共通点があります。弥生時代中期にはこれらの遺跡が



一体となって

## 土生遺跡物語

### 偶然の発見！



特集

# 土生遺跡国史跡 スゴイぞ!



1つの大集落を形成していたと考えられています。

土生遺跡と仁俣遺跡、久蘇遺跡からなるこの大集落は佐賀平野の嘉瀬川以西では最大規模の拠点的な集落で、近年はこれらの遺跡を総称して「土生遺跡群」と呼んでいます。

## 独自の進化!! 「朝鮮系無文土器」

土生遺跡群では、牛の角のような把手のついた壺、ひも状の粘土帯がめぐる甕、脚部に



粘土がまった高坏<sup>たかき</sup>など、明らかに在地の弥生土器とは異なる形や色の土器が出土します。

朝鮮半島の土器に類似した特徴を持つことから朝鮮系無文土器と呼ばれています。弥生土器の影響を受けながら変容したものも多くみられることから、渡来してきた人々が土生遺跡群に長期間にわたって滞在し、在地の人とともに生活を送るなかで集落内に定着していった可能性を示しています。

## 土生が初期青銅器の 生産拠点だった!

外来系の文化との交流によって、土生遺跡群に青銅器の生産技術も伝わります。

土生遺跡群からは銅剣や銅矛、ヤリガンナなど9点の青銅器鑄型が出土しています。

鑄型とともに出土した土器から、弥生時代

中期前半頃には本格的な青銅器の生産が行われていたと考えられます。また、国内における初期青銅器の生産拠点の一つであったことが分かりました。



5 学生は佐賀県の教育委員会に通報した。通報を受けた佐賀県の教育委員会は早速緊急調査を始めた

6 しかし工事の期限がせまっていたため調査は連日深夜にまでおよんだ!



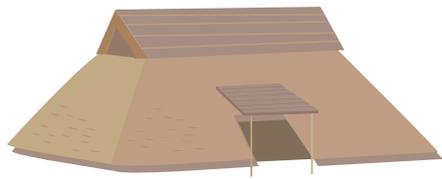
7 調査では多くの土器や木製品、柱の跡などが出土した



8 その結果ここは約2000年前の弥生時代の農耕集落遺跡で、大量の遺物が出土し、当時の人々の暮らしぶりを伝える極めて価値の高い遺跡であることが分かった

全国から多くの学者が見学にやってきました。そして昭和48年には国の史跡に指定された!





## 農耕社会の確立が早まる!?

縄文時代には狩猟採集によって食料を得ていたと考えられていますが、弥生時代になると稲作などの農耕栽培によって食料を得ることができるようになりました。

土生遺跡発見以前は弥生時代後期になってから安定した農耕社会ができたと考えられていましたが、土生遺跡から弥生時代中期の木製農耕具が出土したことによって、国内における農耕社会の確立時期が100年以上さかのぼることになりました。



## 集落の終焉

在地の弥生人と朝鮮半島から渡来してきた人々、彼らの子孫がともに暮らした大集落は弥生時代中期後半頃から後期にかけて衰退し消滅してしまいます。

かわって土生遺跡群の北側、標高25m以上

## 幻の農具「踏鋤」の出土!



組み合わさって完成したものがこちら



踏鋤

土生遺跡からは朝鮮半島との交流を示す農耕具も出土しています。韓国では「タビ」と呼ばれる木製の踏鋤が、土生遺跡から組み合わされた状態で出土しました。同時代の踏鋤は韓国でも出土していませんでした。

## 調査は今も……

50年の間で20次の調査を重ね、たくさんのお土産がありました。発掘された破片を根気よくつなぎ合わせ、当時の様子を調べています。



の場所に位置する丁永遺跡や八ッ戸遺跡、布施ヶ里遺跡などで大規模な集落が形成されていきます。土生遺跡群で生活していた人々がどこに移り住んだか分かりませんが、弥生時代中期後半以降、標高の高い場所に位置するこれらの遺跡が小城の中心的な集落として発展していきました。



入場料 無料  
参加費

# 土生遺跡国史跡指定 50年記念イベント開催

土生遺跡のこれまでの調査内容を  
紹介する展示会、イベントを開催し  
ます!

遺跡の魅力をより感じられる機会  
です。ぜひご参加ください♪

## ①土生遺跡国史跡 指定50年記念特別展

**テーマ** おぎのまんなか! 土生遺跡  
**期間** 9月9日(土)~10月22日(日)  
**場所** 小城市立歴史資料館  
展示室

## 要予約 ③記念講演会

**テーマ** 吉野ヶ里遺跡と土生遺跡  
**日時** 10月14日(土) 13時30分~15時  
**場所** ゆめぷらっと小城 2階 天山ホール  
**定員** 150人  
**講師** しちだ ただあき  
七田 忠昭 さん  
佐賀城本丸歴史館 館長

## 要予約 ④文化財ウォーキング

**テーマ** 土生遺跡の発掘調査区  
を巡るウォーキング  
**内容** 史跡土生遺跡公園までの  
ウォーキングを行います。土  
生遺跡内で行った発掘調査  
地点を調査員のポイント説  
明を交えながら散策します。  
**日時** 10月14日(土)  
9時30分~12時  
(雨天時は桜城館で  
展示説明)  
**集合場所** 桜城館  
**参加対象** どなたでも



## 要予約 ②土生遺跡国史跡 指定50年記念シンポジウム

**テーマ** ここがすごいよ。土生遺跡!  
**日時** 9月23日(土・祝) 14時~16時  
**場所** ゆめぷらっと小城 2階 天山ホール  
**定員** 150人  
**パネラー** たかしま ちゅうへい 高島 忠平 さん 佐賀女子短期大学名誉教授  
かたおか こうじ 片岡 宏二 さん 小都市埋蔵文化財センター長  
よしだ ひろし 吉田 広 さん 愛媛大学教授  
はっとり じろう 服部 二郎 さん 土生遺跡 第4次調査担当者



## 要予約・5組限定! ⑤土生遺跡公園まつり 親子ディキャンプ

**日時** 10月21日(土) 10時~16時 **雨天中止**  
**場所** 史跡土生遺跡公園  
**内容** かめ 甕でご飯を炊いてカレーを作ります♪  
**参加対象** 小学生とその保護者  
**要** ディキャンプ用具持参  
**体験内容** 火おこし、染色、  
貨泉鑄込み、  
貫頭衣を着る  
など盛りだくさん!



問 文化課(桜城館2階) [担当] 永田・本村 ☎73・8809